

「ウソが彼らのアジェンダ」：カナダのジャーナリストが、 主流メディアのシリア報道を一喝——国連会議

【訳者注】これはカナダの女性ジャーナリストによる、馬鹿げた西側主流メディアに対する、小気味のよい一喝である（サマンサ・パワーに対する露報道官ザハロワのそのような）。シリアについての西側の報道が、「正反対」になっていると言っている。つまりアサド大統領は、アレッポの捕らわれの自国民を救出しようとして戦っているのに、米側は、自国民を殺していると宣伝しているのである。シリア人はどこへ行っても、自国の政府を支持する者ばかりだと彼女は言う。同じ証言 <http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160914.pdf> を見よ。“反政府軍”もいなければ“内戦”もないのである。

ジャーナリストも最初は騙されるかもしれない。しかし自分が明らかに巨悪に加担しているとわかったら、潔く退職せよ。米従僕国の日本でも同じである。ケムトレールを飛行機雲と教える記者も、ケムトレールに絶対触れない気象予報士も退職すべきである。職はいくらでもある。沈黙することは、事実を曲げることと同罪である。すべての記者は、潔く自分の悪事を告白したドイツの Udo Ulfkotte に倣うべきである。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160205.pdf>

「使いまわし」の救助用の子供（危機役者）については、これを参照されたい。

http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160405_2.pdf

RT (Russia Today)

December 14, 2016



政府によって奪還されたシリア、アレッポの al-Shaar 近傍の破壊跡に立つ少年たち、2016/12/13

西側主流メディアのシリア戦争の報道は、彼らの現地ニュース・ソースが「信用できない」ことと、アレッポの場合、それが存在さえしていないことによって、「信用を失っている」(compromised)、とカナダのジャーナリストが、国連で感情を込めて話した。

「私は(シリアの)ホムス、マーロウラ、ラトキア、タルトゥスには何度も行っており、そしてアレッポには4回行っていますが、そこの人々が、彼らの政府を支持していることは、絶対に間違いありません。あなた方が企業メディアから聞くことは、すべて完全に正反対です」と、カナダのジャーナリストで人権活動家の **Eva Bartlett** は、シリアの国連への呼びかけによる記者会議で話した。 <https://www.youtube.com/watch?v=ebE3GJfGhfA>

「そしてその点では、あなた方が企業メディアを通じて——名前を言うならば、BBC、ガーディアン、ニューヨーク・タイムズなど——アレッポについて聞くこともまた、現実の正反対です」と彼女は付け加えた。主流メディアの物語は、バシヤール・アル・アサド大統領の政府を悪魔化し、ダマスカスに対するロシアの援助についての事実を捻じ曲げることによって、シリアで本当に起こっていることについて、大衆をミスリードする意図をもったものだと言った。

<https://www.facebook.com/inthenow/videos/729126400571065/>

ビデオ：「カナダの独立ジャーナリストが、シリアで現実に起こっていることについて、主流メディア記者を打ちのめす」(再生回数 280 万以上、12/17 20 時)

バートレットの発言は、すべての出席者の気には入らないようだった。ノルウェーの最大の新聞 **Aftenposten** の記者が、彼女に挑戦し、西側主流メディアの“アジェンダ”とは、何を考えているのか説明してほしいと要求した。「なぜ我々がウソをつかなければならないのですか？ なぜ現場にいる国際的な組織がウソをつかねばならないのか？ あなたが我々すべてを、ウソつきと呼ぶ理由を説明してほしい」と彼は言った。

“内戦”の勃発以来、数年間、シリア情勢を取材してきたバートレットは、「完全に信用を失った体制メディアの中には、確かに正直なジャーナリストもおられる」が、多くの尊敬されるメディア機関が、事実チェックを完全に避けているように言った。

彼女はそこで、このノルウェーの同僚に、東アレッポで活動している、人道主義組織の名前をあげてみてくださいと言った。アフトンポステンの記者が黙っていると、バートレットは「一つもないのです」と言った。

関連記事:「プロパガンダ戦争? 主流メディアは、アレッポ住民が解放を喜んでいるとき、アレッポを陰惨なものとして説明」 <https://www.rt.com/news/370218-western-media-aleppo-propaganda/>

「これらの組織は、〈シリア人権監視団〉(SOHR) に依存していますが、SOHR はイギリスのコヴェントリーを本拠にしているワンマン組織です。彼らは、「ホワイト・ヘルメツ」のような信用できない集団に依存しています。少し「ホワイト・ヘルメツ」の話をしましょう」と彼女は続けた。

この論争的グループのメンバーは、「東アレッポやイディブの市民を救助していることになっています。…東アレッポの誰も、そういう人たちのことを聞いたことがないのです。」一方で、と彼女は言った、「彼らのビデオ・フィルムには、いろんな報道で“使い回された”子供たちが現実に映っています。だから、このアヤという名前の女の子が、たとえば8月のあるニュース報道の中に出てきて、また翌月の報道に、別の場所で 2 回出てくるのです。」

<https://twitter.com/VeraVanHorne/status/796098735910649861>

(アルカーイダ/ホワイト・ヘルメツが、同じ少女を、3か月に3回も救助している画像)

「だから彼ら(ホワイト・ヘルメツ)は信用できません。SOHRも信用できません。“名前を言えない活動家”も信用できません。したがって現場のニュース・ソースというようなものは、ないのです」とバートレットは結論した。

イタリアの新聞 *Corriere della Sera* のある記者が、もっとはっきりした口調で、バートレットに、西側とロシアのメディア情報の違いを説明するように求め、ロシアのテレビ・チャンネルは、明らかに名指したり非難したりしないで、人道的な努力や和解について報道していると言った。

「あなたのご質問は、どうしてこれが見抜けないのか、ということですね」とバートレットは言った。「これは、もう一人の方の、なぜ、ほとんどの企業メディアは、シリアについてウソをついているのか、という質問に関係します。それは、これが彼らのアジェンダだからです。もし彼らが始めから、シリアについて真実を語っていたら、今、我々はこんなところにいないでしょう。我々は、これだけ多くの人々が殺されるのを、見ることはなかったでしょう。」(強調訳者)